

JR貨物労組とは

JR貨物労組は、正式名称を「日本貨物鉄道労働組合」といい、JR貨物会社が発足(1987年4月1日)する前段の1987年3月16日に結成されました。

結成以来今日まで、JR貨物の責任組合として、働く仲間の

- ①生活の向上をはかる
- ②働くための労働条件の維持・改善と働きやすい充実した環境の実現
- ③将来の充実した生活の確保
- ④平和な社会を創る
- ⑤スポーツ、サークルなどを通じた仲間たちの交流

に向けて、真剣に取り組んでいる労働組合です。

JR貨物労組は、自立・独立の主体性を持った組織として、経営側や政党の意志に左右されることなく、働くものの立場からの運動をすすめています。労使対等の原則に立って、労使が協力しながら成果の配分については堂々と要求しています。常に現実を直視し、働きがい・生きがいのある職場づくりをめざしています。

JR貨物労組の主な活動

1. 組合員の要求を解決する
賃金などをはじめとする労働条件の改善に向け、中央・地方本部の団体交渉で要求の解決をはかります
2. 会社の経営をチェックする
経営を知り、その内容をチェックし、経営協議会などで政策提起などを行います
3. 平和と環境を守る
戦争のない平和な社会の実現と環境を守るための諸活動を行います
4. スポーツ、サークルなどで仲間との交流をはかる
いろいろなスポーツや、囲碁、園芸などの文化活動などがあります
5. 共済活動を行う
組合員の相互扶助の精神にもとづいて「総合共済」(JR総連)、「セット共済」(全労済)などの各種共済活動を幅広く行っています
6. 連帯の輪を拡げる
JR貨物労連、JR総連の仲間をはじめとして、国内外の人達との交流・連帯を行います